

# 第1学年 道徳学習指導略案

2組 計23人(男子15人, 女子8人)  
指導者 諸平幸奈

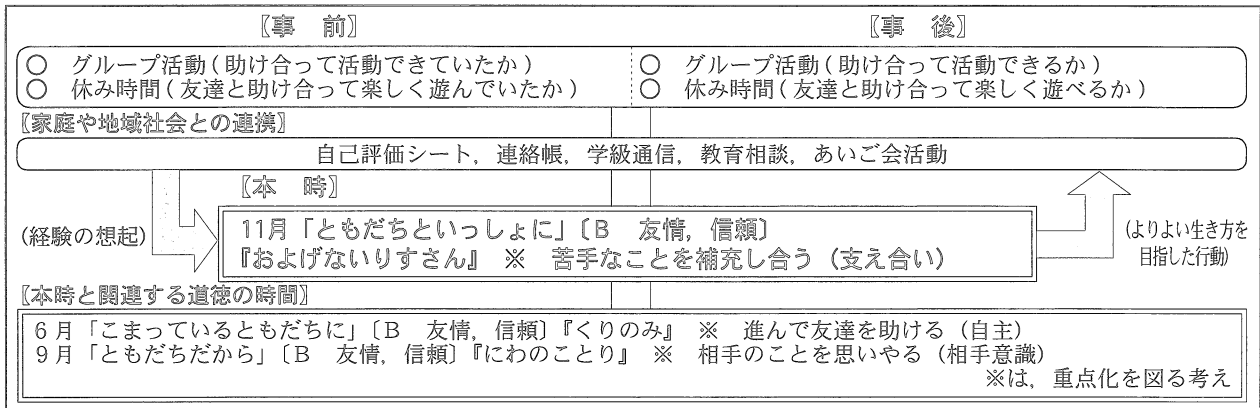
## 1 主題名 ともだちといっしょに(B 友情, 信頼) 資料名「およげないりすさん」(わたしたちの道徳 小学校1・2年)

### 2 主題について

#### (1) 主題の位置とねらい

友情とは、友達との間で信頼したり、認め合ったりする人間関係のことである。信頼とは、相手のことを信じて頼りにすることである。本主題では、身近にいる友達と一緒に、仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことのよさに気づき、友達と仲よくするための大切な考えを身に付けていくこととなる。そこで、自分が苦手だと思っていることや一人では難しいことも友達と支え合うことで乗り越え、更に友情を深めることができると気付くことができるようにする。

#### (2) 本主題に関連する体験活動及び家庭や地域社会との連携



### 3 子供の実態

本学級には、泣いたり、痛がったりしている友達を助けた経験がある子供が多い。しかし、苦手なことや困難なことに直面して困っている友達に無関心であったり、自分勝手であったりするなどの心の弱さから、何もしないという子供もいる。友達と一緒に過ごす際、互いの苦手なことを支え合い、友情を更に深めていこうとする心情を育てる必要がある。

### 4 資料について

この資料は、泳ぐことができるあひる、かめ、白鳥と泳ぐことができないうりすが、池の中にある島へ行って遊ぶ話である。あひるたちは、りすが「一緒に島へ連れて行って。」と頼んでも断り、りすを残して遊びに行ってしまう。しかし、島で遊んでいても楽しむことができず、みんなで話し合い、りすをかめの背中に乗せて島まで行くことにする。苦手なことや一人では難しいことも友達と力を合わせたり支え合ったりすることで、みんなが楽しく過ごせると考えることができるように本資料を活用する。

### 5 指導に当たって

#### (1) 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

##### ア ペアでの「学び合い」(認め合いの「学び合い」)

泳げるあひるたちと泳げないりすが島へ遊びに行く話をしているときの気持ちを、ペアで役割演技をしながら伝え合う。その際、互いの考えを確かめ合ったり、理解し合ったりすることができるようにする。

##### イ 全体での「学び合い」(磨き合いの「学び合い」)

ペアで伝え合った考えを基に、「自分だったらりすを連れて行くか連れて行かないか」、立場を明確にし、考えを出し合う。そうすることで、友達と互いに助け合うことや友達の気持ちを考えることの大切さに気づき、どうすれば友達と一緒に楽しく過ごすことができるか考えることができるようにする。





#### (2) 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容2】

自己評価シートに本時で考えた「大切にしたい考え」と「生かしたい場面」を記述することで、自己を見つめ、今後の生活に生かそうとすることができるようにする。また、中・長期的に振り返ったり、道徳の時間に考えたことを生かした際、保護者にコメントを記入してもらったりすることで、本時で考えたことを日常生活でも意識し、実践意欲を高めることができるようにする。

## 6 本 時

(1) 目 標 苦手なことや一人では難しいことも友達と支え合い、友情を深めようとする心情を育てる。

(2) 展 開  教師の言葉掛け  子供の反応  重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教 師 の 指 導
気 付 く (10)	<p>1 友達と一緒に活動しているとき、楽しめなかった経験を思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     友達と遊んだり学習をしたりしているときに、一緒に楽しめなかったことがあるかな。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びが友達と自分で違ったときは、一緒に遊べなかった。</li> <li>・自分が苦手な学習のときは、あまり楽しくなかった。</li> </ul> </div> <p>2 本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ともだちと、いっしょにたのしくすごすためには、どんなきもちがたいせつかな。                 </div> <p>3 資料「およげないりすさん」を聞いて、登場人物の気持ちを中心に捉えながら、「友情、信頼」に関わる生き方について話し合う。</p>	<p>☆ 電子黒板でアンケートを基にした具体的な場面を提示することで、これまでの自分の経験を振り返ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 苦手なことや困難なことをするときは、みんなが楽しいと思えないことがあると振り返ることで、本時のめあてを明確にすることができるようにする。</li> <li>○ 挿絵を使って資料を読み聞かせることで、あらすじや場面の様子を捉えることができるようにする。</li> </ul>
見 つ め る (27)	<p>(1) 島へ遊びに行こうとする場面の役割演技をペアで行い、動物たちの気持ちについて考える。 【ペアでの「学び合い」】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     「泳げないからだめ。」と言ったあひるさんたちや、言われたりすさんはどんな気持ちだったか考え、友達と伝え合ひましょう。                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・だめだよ。</li> <li>・泳げないでしょ。</li> <li>・行けるわけない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しいな。</li> <li>・友達なのにひどいよ。</li> <li>・ぼくも行きたいな。</li> </ul>  </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ペアでの「学び合い」で確かめたり、理解し合ったりした考えをワークシートに整理する。                 </div> <p>(2) 自分だったら、りすを連れて行くか連れて行かないか話し合う。 【全体での「学び合い」】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     もし、自分だったら、りすさんを連れて行くでしょうか。連れて行かないでしょうか。                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">                     連れて行く                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・りすさんがかわいそう。</li> <li>・友達だから、一緒に遊びたい。</li> <li>・自分たちも楽しくない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">                     連れて行かない                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・泳げないから仕方がない。</li> <li>・次に、違うところでりすさんと遊べばいい。</li> <li>・自分たちは楽しい。</li> </ul> </div> </div> <p>(3) 遊んでいても少しも楽しくなかったあひるたちの気持ちを考える。 【全体での「学び合い」】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・りすさんは、寂しがっているだろうな。</li> <li>・りすさんも友達だから、いないと寂しい。</li> <li>・りすさんは、何をしているかな。</li> </ul> </div> <p>(4) かめの背中に乗っているりすの気持ちを捉えた後、どうすれば友達と一緒に楽しく過ごすことができるか話し合う。 【全体での「学び合い」】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなありがとう。</li> <li>・島へ行ってうれしい。</li> <li>・友達と行ってよかった。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なことを助けてあげたい。</li> <li>・友達の気持ちを考える。</li> <li>・みんなが楽しめることをする。</li> </ul> </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 役割演技をし、自分の考えをペアで伝え合うことで、互いの考えを確かめ合ったり、理解し合ったりすることができるようにする。</li> <li>○ ペアで伝え合った考えを基に、「自分だったら」この状況で、りすを島へ連れて行くか連れて行かないか考えることで、立場を明確にして考えを出し合うことができるようにする。</li> <li>○ 「連れて行く」という意見が多い場合は、教師が「連れて行かない」という立場で考えを出すことで、「連れて行く」と考えた子供たちの理由を引き出すことができるようにする。</li> <li>○ 遊んでいても少しも楽しくなかった動物たちの気持ちを捉えることで、友達の気持ちを考えることができるようにする。</li> <li>○ 自分も友達も楽しいと思えるにはどうすればいいかを考えることで、一人では難しいことも友達と一緒になら支え合い楽しく過ごすことができそうだと気付くことができるようにする。</li> </ul>
深 め る (5)	<p>4 どんな気持ちを大切に友達と一緒に過ごしたいか考えをまとめる。 【自己評価】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むずかしいことはてつだってあげたい。</li> <li>・ともだちのきもちになって、ちからをあわせたい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからどんな気持ちを大切にしたいか記述することで、自己を振り返ることができるようにする。</li> </ul>
高 め る (3)	<p>5 本時に考えたことを基に、具体的な場面でのどのように行動するか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走ることが苦手だと言う友達とリレーをする場面</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆ 苦手なことや難しいことは、友達と支え合っていることと考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">【自己評価シート】</p> </div>

## 「学び合い」想定シート

ともだちと、いっしょにたのしくすごすためには、どんなきもちがたいせつかな。

### 【ペアでの「学び合い」(認め合い)】



「泳げないからだめ。」と言ったあひるさんたちや、言われたりすさんはどんな気持ちだったか考え、友達と伝え合しましょう。(役を交代しながら役割演技を行う。)



りすさんは、泳げないからだめだよ。(あひる役)

どうして、だめなの。寂しいよ。(りす役)

役を交代する



りすさんは、泳げないから島へは行けないよ。(あひる役)

ぼくもみんなと一緒に遊びたいのに。(りす役)

ペアでの「学び合い」で確かめたり、理解し合ったりした考えをワークシートに整理する。

### 【全体での「学び合い」(磨き合い)】



もし、自分だったら、りすさんを連れて行くのでしょうか。連れて行かないのでしょうか。【立場を明確にする】



ぼくは、連れて行きます。だって、一人ぼっちになっているりすさんが、かわいそうだなと思うからです。

わたしは、連れて行きません。だって、りすさんは、泳げないから危ないと思うからです。



わたしは、連れて行きます。だって、りすさんも一緒に遊びたいという気持ちがあると思うからです。

でも、泳げないから行けないのは仕方がないのじゃないかな。



そうかもしれないけど、それは、ひどいと思います。

りすさんとは、次の日に遊べばいいと思います。



島で遊んでいても少しも楽しくなかったあひるさんたちは、どんな気持ちだったのかな。



りすさんは、寂しがっているだろうな。

りすさんがいないと寂しいな。



かめさんの背中に乗っているりすさんは、どんな気持ちだったのかな。



みんなありがとう。

みんなと島へ行けて、うれしい。



では、友達も自分も楽しむことができるようになるためには、どうしたらいいのでしょうか。【価値観を高める】



苦手なことを助けてあげる。

友達の気持ちを考える。

- ・ むずかしいことはてつだってあげたい。
- ・ ともだちのきもちになって、ちからをあわせたい。